

千葉県 NEWS

CHIBA CANCER CENTER NEWS

がんセンターニュース



創刊号
平成17年8月1日発行
発行:千葉県がんセンター

基本理念

私たちは医療を受ける人の人格と権利を尊重し、最適ながん医療の提供を目指します。

日本のがん医療を変える

センター長 竜 崇正



日本のがん医療レベルは世界のトップクラスにあると思いますが、それが国民には十分理解されていないように思います。それは日本のがん医療は個々の創意工夫ばかり追いつめて科学的証明ができていないので標準的治療が明らかでないという点、従って患者への情報開示も不十分で

ある点などのためだと思います。千葉県がんセンターの基本理念は「医療を受ける人の人格と権利を尊重し、最適ながん医療の提供」であります。さらにこれからは「心と体を大事にするがん医療の構築」を旗印に、安心して最適最先端医療が受けられるように整備しなければならないと思います。

安心して患者さんに来ていただけるために、私たちは「患者情報は患者のもの」であることをベースに、十分な説明をして納得して治療を行っていただけるようにさらに留意します。いたずらに治療に伴う合併症を並べて、患者を不安と恐怖に陥れるインフォームド・コンセントではなく、その患者さんにとってわれわれがん専門医が本当にすすめる最適医療は何かを提示する、そしてその患者の人権を大事にする立場でのインフォームド・コンセントを行うようにしたいと思います。

がんセンターとして行う適切ながん医療とは、まずその「がん」にとっての標準的治療をきちんと行う事です。胃痛では病巣が摘出しきれば、内視鏡的治療や手術が標準的治療になります。しかし、手術の後に術後化学療法は有効性が証明されていないので、標準的治療とは言えません。がんセンターの次の使命は、標準的治療を確立していくことです。それはよく計画されたスタディ・デザインに沿って行う科学的に証明された医療でなくてはなりません。その結果から標準的治療を確立し、またその結果をベースにして種々の工夫をして標準的治療を超える新しい治療法を開発していく

のが、がんセンターの任務です。抗がん剤治療はすべて標準治療ではありませんので、すべて臨床試験として行い、その効果を検証していく必要があります。このことはすべての抗がん剤治療は新設された「プロトコル開発管理委員会」に届けて施行し、その効果を定期的に検証していきます。またがんセンターの使命は、新しいがん治療を開発して標準的治療として確立していくことにあります。実際には他の施設では行えない、がん病巣にだけ放射線を集中して副作用無く治療できる「強度変調放射線治療」や肺がんに対して行っている「LAK療法」などがそれになります。各診療科でもそれぞれの工夫を凝らして治療をしています。これらの新しい治療も臨床試験として正しく評価して標準的治療に育て上げなければなりません。6月22日からクリニカル・オンコロジー・カンファレンスが2週に1回開催され、全てのセッションからのがん治療内容が発表されます。その成果は英文の学術論文として発表し、標準的治療を確立していきます。外科領域でも当院の優れた画像診断のレベルを最大限にいかすため、ナビゲーション手術を旗印に、より安全で低侵襲な手術を施行するようにしていきたいと思っています。これらの外科手術の評価も、従来の外科成績と比較してその有用性を科学的に評価し、世界の標準治療とすべく英文論文にしていきたいです。

「がん」は誰でもなる生活習慣病ともいわれる国民病です。「がん」は遺伝子の異常によりおきます。中川原研究局長は世界に先駆けて予後予測できるDNAチップの実用化に成功しました。その内容は癌の国際的トップジャーナルであるCancer Cellに掲載されています。その成果を生かすため、がんセンター内に「ゲノムセンター」を立ち上げ研究局、医療局、看護局一体となつてのがん予防や治療に取り組んでいきたいと考えています。それらの成果も科学的に実証し、千葉県のがん死亡率を低下させるのが「ゲノムセンター」設立の究極の目的です。

がんを科学して、新しい治療から標準治療を育て、本当に患者を護れるがん医療を確立し、千葉県から日本のがん医療を変え、がん死亡率を低下させていく事を目的に職員一同努力していきたいと考えています。その努力の内容を広報するのが「がんセンターニュース」発刊の目的です。大きく発展することを期待して発刊の挨拶とします。

研究の現場から

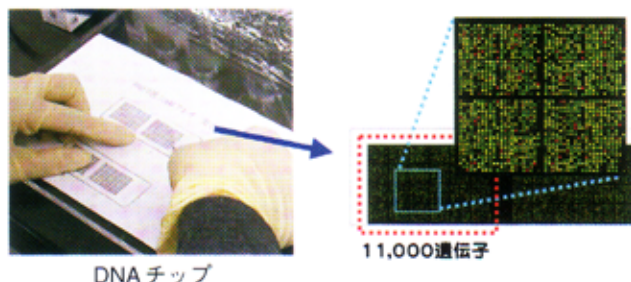
オーダーメイド医療の中核研究施設へ

研究局長 中川原 章

千 葉県がんセンターニュース創刊号発刊にあたり、センター研究局から、ひと言ご挨拶申し上げます。創設以来、センター医療局と共に研鑽を積み上げてきた研究局も、早33年目を迎え、本年4月からは、千葉大学医学部の連携大学院講座となりました。現在、私たちは、医療現場と連携して、患者様の診療に直接役に立つがんのオーダーメイド医療の確立を目指しています。

1990年代に展開されたいわゆる「ヒトゲノムプロジェクト」が完了し、私たちのがん研究は、閉ざされた実験室での研究から、ベッドサイドに繋がる実用化研究へと大きく変わってきました。がんの原因は、細胞の核の中にある遺伝子に傷がついて起こることが分かりましたが、その遺伝子はヒトでは約22,000個あることが知られています。細胞の分裂や増殖を制御する遺伝子（発がん遺伝子、がん抑制遺伝子など）が次々に分かり、その中の重要な遺伝子に傷が入ることで、がんが発生してくることも明らかになりました。ヒトの場合には、約22,000個の遺伝子が蛋白質に翻訳されて細胞の機能をコントロールしていると言われて

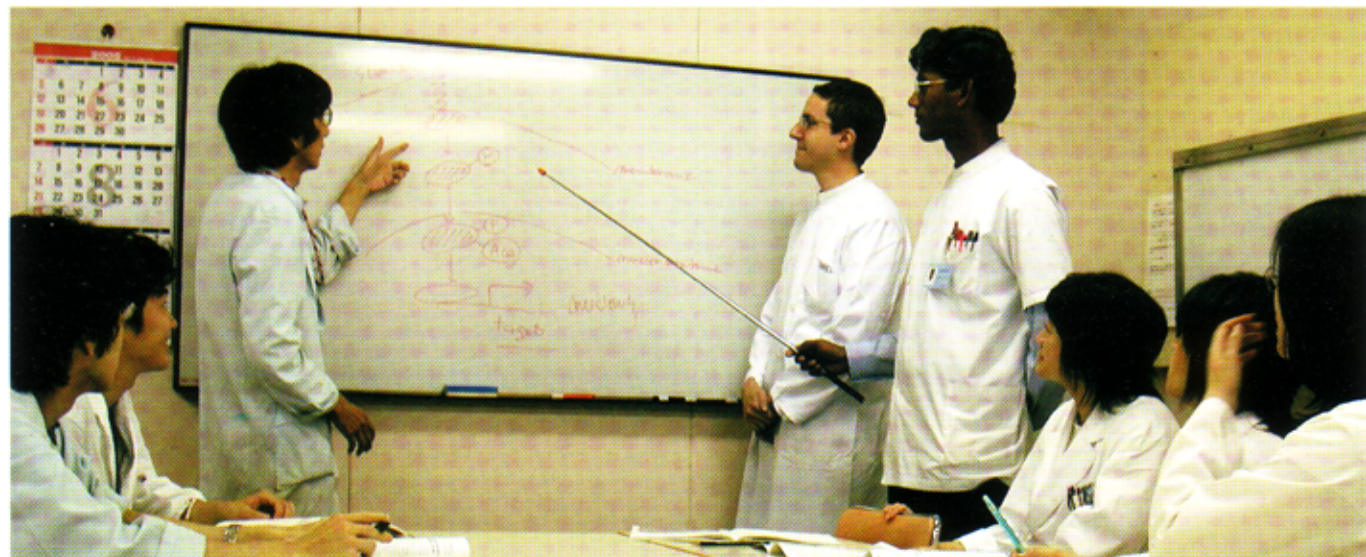
います。私たちの研究局では、過去7年間に、小児がんの組織から11,000個の遺伝子を単離し、これに2,000個の既知遺伝子を追加して、独自のDNAチップを作製して



す。昨年、この技術を応用して、神経芽腫の予後を予測する実用化DNAチップを世界で初めて作製しました。この成果は、がん研究の国際的トップジャーナルであるCancer Cell誌に掲載され、イタリア・ジェノバで開催された国際神経芽腫学会で遺伝学部門の最高賞「リタ・ロッチ賞」を受賞し、さらに、「平成16年度千葉県優良職員表彰」をいただきました。現在さらに、成人がんを含め、新しい実用化チップの開発を展開しています。小児がんから単離した新規遺伝子の機能解析も成果が出始め、神経の難病である筋萎縮性側索硬化症（ALS）の重要遺伝子を同定しました。

また、抗がん剤に対する耐性獲得とその克服のための研究や、低酸素状態に強い悪性のがん細胞をいかに死滅させるかの研究も進んでいます。そのほか、新しい遺伝子治療法の開発、千葉県におけるがんの疫学研究なども展開しており、とくに後者に関しては、今後、千葉県衛生研究所と共同して、生活習慣病を対象とした前向きコホート研究に発展させたいと考えています。さらに、年内に、「ゲノムセンター」も立ち上げる予定です。

したがって、私たちの研究局は、県立7病院の中核研究部門として、そして、がんのみならず、広く県民の生活習慣病に対する予防医学を確立するための研究機関として、新しく生まれ変わろうとしています。



Discussionの風景。(千葉県がんセンター・久光製薬共同研究施設「遺伝子機能解析センター」)

臨床の現場から

タリウム SPECT を用いたがん治療効果判定

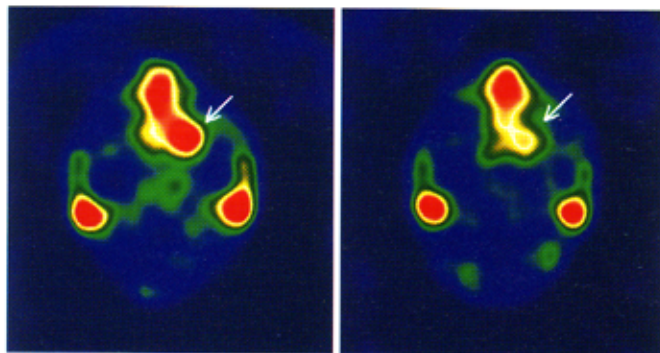
核医学診療部 部長 戸川 貴史

SPECTはSingle photon emission CTの略語で「スペクト」と読み、シンチグラムの断層像を撮る診断法です。塩化タリウムは狭心症や心筋梗塞の診断に広く用いられている放射性医薬品で、1976年には腫瘍にも集積することが報告されました。千葉県がんセンターではタリウム SPECT を用いたがん診断を1991年以來ずっと行っています。

タリウムの腫瘍集積は腫瘍の血流やNa-K-ATPase活性を反映しており、腫瘍へのタリウム集積を介して腫瘍の活動性を画像化することが可能です。タリウム SPECT はがんの再発や転移巣の検出にも有用ですが、特に治療効果判定に優れています。これまで骨肉腫や上咽頭腫瘍における治療効果判定にタリウム SPECT が役立つことを報告してきました。最近、食道癌や口腔癌の術前化学放射線療法の効果判定にもタリウム SPECT が有用であることがわかってきました。治療前後のタリウム SPECT から病巣へのタリウム集積の減少率を算出すると、この減少率が手術時の病理組織標本上のがん細胞の残存の有無を良く反映していました。

写真左は左上顎歯肉癌の患者さんの術前化学放射線療法前のタリウム SPECT で病巣にタリウムがたくさ

ん集積しています(←)。写真右の治療後では、この集積がかなり減少していることがわかります(←)。タリウム集積減少率は52%であり治療によってタリウム集積が約1/2に抑制されました。手術時の病理検査で癌の残存は全くありませんでした。最近、化学放射線療法でも根治手術と変わらない治療成績が示され、化学放射線療法は今後ますます普及していくと予想されます。術前化学放射線療法後さらに根治手術が必要かどうか、あるいは放射線治療のみで根治的治療が可能かどうかの評価にタリウム SPECT が大変役立つと考えられます。



左：術前化学放射線療法前のタリウム SPECT
腫瘍にタリウムが強く集積している

右：術前化学放射線療法後のタリウム SPECT
腫瘍へのタリウム集積はかなり減少している

患者さん 相談窓口の ご案内

当センターでは、基本理念および基本方針に基づき各診療科ごとに各種がんの診療を行っておりますが、がん医療を受ける人およびそのご家族のニーズも多様化してきていることから、「患者さん相談窓口」を本年2月より開設しました。担当は看護師長1名、医療ソーシャルワーカー2名、事務1名で、地域医療連携業務と兼務で行っております。

がんに関する疑問や不安、悩みに対応するために、相談者のお話を伺い、医師、看護師、薬剤師、栄養士、作業療法士などの

病院スタッフと連携を取りながら、問題を解決する努力をしております。

一方、当センターへの苦情、意見への対応としては、相談者の立場にたってお話を伺い、病院とは切り離れた部門として、秘密は厳守した上で、相談者の代弁者としてセンター長に申し伝えたり、問題解決への努力をしております。

下記要項にて実施しておりますので、ご利用頂けますようご案内申し上げます。

相談日：月～金曜日 午前9時～午後4時

相談内容：「がん」に関する疑問や不安、悩み

当センターへの苦情および意見（セカンドオピニオンは除く）

場所：地域医療連携室（1階）「患者さん相談窓口」

相談方法：来訪による対面相談および電話相談（代表043-264-5431）

料金：無料

県民公開 シンポジウムの ご案内

「これからのがん医療～地域のがん医療レベルの向上を目指して～」

をテーマに下記により県民公開シンポジウムが開催されます。

日 時：平成17年9月24日(土) 午後1時半～午後4時

場 所：青葉の森公園芸術文化ホール

(千葉市中央区青葉町977番1号)

内 容：特別講演 国立がんセンター総長 垣添忠生先生

シンポジスト：堂本県知事、垣添総長、古在千葉大学長、
市民代表ほか

入場無料(先着順 800名)

問い合わせ：千葉県がんセンター事務局総務班

(TEL 043-264-5431 内線2110)



平成17年8月1日現在の外来診療担当一覧です。

外来診療担当医表

診療科	曜日	月	火	水	木	金
センター長外来			電		電	
消化器外科		浅野・永田 滝口・趙 森	浅野	浅野・山本(監) 滝口・貝沼 早田	浅野	山本(監) 永田・貝沼 早田・森
消化器内科		若林 傅田	炭田 傅田	炭田	原(太郎) 傅田	穴戸
腫瘍血液内科		辻村 熊谷	酒井(力) 石井(順) 原(誠)	酒井(力) 熊谷 高木	熊谷 高木 原(誠)	酒井(力) 石井(順) 辻村
整形外科		館崎 米本	石井(達) 岩田(慎)	館崎	石井(達)	館崎・竹内 石井(達) (PM)装具外来
乳癌外科		山本(尚) 鈴木(正) 押田・尾内	山本(尚) 鈴木(正)	山本(尚) 鈴木(正) 押田・尾内	山本(尚) 鈴木(正)	山本(尚) 鈴木 押田・尾内
呼吸器科		木村・吉田 安藤 鈴木(秀)	木村	安藤	木村	木村・吉田 安藤・石川
頭頸科		河田	竹内 高橋 河田	河田	林崎・竹内 高橋・河田	河田
泌尿器科		丸岡 浜野 植田	丸岡・浜野 植田・二瓶 仲村	丸岡	丸岡・浜野 植田・二瓶 仲村	丸岡
婦人科		(AM)田中	田中・大崎 鈴鹿・加藤	鈴鹿	田中・大崎 鈴鹿・加藤	大崎
脳神経外科		(PM)大里 井内	大里	(AM)大里 (PM)井内・長谷川	大里	(AM)大里
緩和医療科		(AM)渡邊(敬) 坂下	(AM)渡邊(敬) 坂下	(AM)渡邊(敬) 坂下	渡邊(敬) 坂下	(AM)渡邊(敬) 坂下
放射線治療部		幡野 酒井(光) 荒木	幡野 酒井(光) 荒木	幡野 酒井(光) 荒木	幡野 酒井(光) 荒木	幡野 酒井(光) 荒木
核医学診療部		戸川 久山	戸川 久山	戸川 久山	戸川 久山	戸川 久山
画像診断部		高野 松津	高野 松津	高野 松津	高野 松津	高野 松津
内視鏡検査		原(太郎) 穴戸	若林 穴戸	若林 原(太郎)・穴戸 趙	若林 炭田	炭田 傅田 原(太郎)
超音波検査		(AM)炭田	原(太郎)	(AM)傅田・森	穴戸 山本(監) 貝沼	趙
消化管X線検査				穴戸・原(太郎)		若林

初めて受診される際は、予約センターまで御連絡下さい。

診療時間 午前9時～午後5時

※都合により休診・変更の場合があります。

予約センター

TEL.043(264)5431 内線2311



JR千葉駅から 所要時間:約25分

千葉中央バス: 誉田駅、鎌取車庫、千葉リハビリセンター、大宮団地(星久喜経由) 行乗車・厚生年金休暇センター前下車

JR鎌取駅から 所要時間:約13分

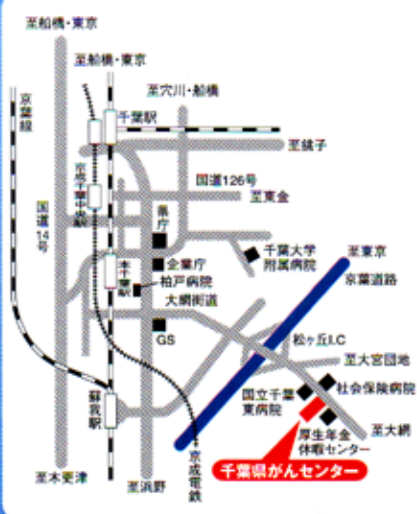
千葉中央バス: 千葉駅行乗車・厚生年金休暇センター前下車

JR蘇我駅から 所要時間:約16分

千葉中央バス: 鎌取車庫行乗車・厚生年金休暇センター前下車

松ヶ丘I.Cから

大網街道を大網へ向かって約2km右側



千葉県がんセンター

T.260-8717 千葉市中央区仁戸名町666-2
TEL.043-264-5431 FAX.043-262-8680
http://www.pref.chiba.jp/byouin/gan